ぶんじライブラリー

国分寺高校図書館だより　　**2018．10月号**

★秋がやってきましたね。秋といえば…芸術・スポーツ・食欲・読書…。
　みなさんの秋はどんな秋でしょうか？
★督促状をもらっている人！すみやかに本を返してくださいね。
　もし返したのに督促状が来ていたら、必ず司書に申し出てください。

10/27～11/7は全国読書週間です。
ぶんじ図書館でも読書週間にあわせて、ちょっとした企画をおこないます。

- 古い雑誌の配布
- 本を借りてポイントを集めよう！
　（集めると、イイコトあるよ）

みんなで読書の秋を楽しもう！

文化祭のチャリティー古本市では、古本のご提供・募金へのご協力をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、280 冊の本を販売し、33,287 円の募金を頂きました。お預かりした募金は、日本赤十字社の平成 30 年 7 月豪雨災害義援金に全額寄付いたしました。皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。

今月の新着図書より

新着図書の中から司書がおススメする本を紹介します。

２１７ーイ
『原爆
　広島を復興させた人びと』
石井光太／著　集英社

平和を願うヒロシマの街。その中心で原爆の恐ろしさを伝え続けるのは、原爆資料館と原爆ドームだ。この資料館を設立し、被爆資料を集め続けた人々について、実はほとんど知られていない。彼らは放射能による後遺症と闘いながら、原爆投下の悲劇の記録を、生涯をかけて後世に残した。この本は、今まで表に出てこなかった、原爆資料館を作った人々を丹念に追ったルポルタージュであり、原爆資料館に平和への思いを託した多くの被爆した市民の記録である。彼らが残した平和への思いが、ずっしりと心に残る１冊。